

同じ人間として

うそか本当か知りませんが、ある体育の先輩教師がこんなことを私に教えてくださいました。

「中学生ぐらいになると、女子の体つきが丸みを帯び、男子の体つきががっしりしてくるのは、どうしてかわかるか。女性は新しい命を授かった時、その命を守るために転んでもシヨックが少ないように丸くてふつくらとした体つきになるんだよ。男性は、盾になってその女性を敵から守れるように、肩幅が広くたくましい体つきになるんだよ。僕は生徒たちに、第二次性徴をこんなふうに説明しているよ。」

医学的科学的な説明とはかけ離れているかもしれませんが、私にはこの説明が今でも脳裏に焼き付いています。難しい理屈ではなく、男性と女性のそれぞれの役割を見事に表現しているように私には思えます。

明日から、全校に家庭科を教えているY・S教諭が産休に入ります。今年度は、今日が最後の勤務日です。胎児の成長も順調のようで、彼女のおなかはずいぶん大きくなりました。九月一日が予定日です。夏休み明けには、「元気な赤ちゃんが生まれました！」と知らせがくることでしょう。その日が今から待ち遠しいですね。

男性女性のそれぞれの性の違いがはっきり理解できる年ごろの皆さんには、男性女性関係なく同じ人間としての認識も深めてもらいたいと思います。

現在通学バスに、男性と女性がバスの先頭に乗ってみえることを知っていますか。先日、いつものドライバーに、女性が乗っているのはなぜかを尋ねてみました。すると、「見習いです！」との答えが返ってきました。

現代は多くの女性が車を運転しています。皆さんのお母さん、お姉さん、おばあさんも車を運転しているのではないでしょう。タクシーや大型トラックにも、女性ドライバーの姿を見かけますよね。北中のスクールバスにも、女性ドライバーが誕生するのも遠くないようです。

男性女性である前に同じ人間であることを尊重する大人になっただけです。悲しい事実ですが、昔は女性が蔑(さげす)まられていた時代もありました。しかし、今はそんな時代ではありません。女性であっても、男性と同様の力や適性をもった人がどんどん出てきています。女性ならではの細やかさや繊細さで、大きな成果を収めている方もいます。

今の女性の活躍には目を見張るものがあります。ライセンスや資格、職業、年収、学歴、知識や技術、話術、運動能力……私の祖母や母親の時代とは比べ物になりません。男女の区別はあっても差別はないのが今の時代です。(七月七日 記)